

ニコラス・マドゥーロ・モロス  
ベネズエラ・ボリバル共和国  
大統領

カラカス、2017年4月27日

米州機構（OAS）  
事務総長  
ルイス・アルマグロ 殿

事務総長殿

ベネズエラ・ボリバル共和国大統領として、米州機構（OAS）憲章第143条に従い、同憲章を廃棄するという私たちの不可避の決断を本状をもって通知するとともに、同機構からのベネズエラの脱退が開始されることをお知らせ致します。

この決断は、シモン・ボリバルのベネズエラ独立プロセスの歴史的且つ理論的原則と完全に合致するものです。OASの過去及び現在の歴史は、嘆かわしくも、OASがその誕生の時から、この大陸が生んだ最も偉大な人物であり、自由で独立した「パトリア・グランデ（大祖国）」を常に夢見ていた解放者シモン・ボリバルの明解な教えである統合・団結の精神に反する利害によって乗っ取られていた組織であることを示していると言えます。OASは、非常に明確な帝国主義的覇権者の利害に奉仕する卑劣な道具として生み出され、強化され、主権平等、独立及び自決をはじめとする国際法の原則を尊重させ且つ尊重するという国際機関として有すべき使命を奪われました。

OASは、国際法の原則と国際法上の国家を公然と侵害する干渉の手段となりました。OASが、内政干渉の活動に対しても、また、2015年3月9日付バラク・フセイン・オバマ大統領令によって生じた愚かで尊大な出来事に対しても、それを止めることをせず、非難も声明さえも出さなかったこと、及びさらに現在、OASの一部少数の加盟国が、ベネズエラとその革命は地域にとっての脅威であるとして、干渉を再び強めようとしていることは誠に恥ずべきことであります。

他の多くの国家は、我が国同様、OASが道を逸脱し、その意義を失っていることについて悩み、嘆いています。地域人民の目的に反することが明白な、道を逸脱した制度が設立され、それがモンロー主義とそれに隷属する支持者の利害の単なる管理者、再生産者または執行者に成り下がることがないよう、ベネズエラは出来るだけのことを行いました。

貴殿は、OAS がその憲章に述べられている使命を遂行する為に有する資金を用い、さらには我が国を攻撃する為に資金を利用すべく公金横領の関係文書を作成して、卑劣にも舞台上の演出や虚偽の写真制作を行い、拍手喝采し、宣伝しましたが、ベネズエラはそれらとはかけ離れたベネズエラの現実を示すために、深い尊厳と限界に近い忍耐力をもって、OAS の様々なフォーラム及び官僚的諸機関の場に参加しました。

さらに私たちは、私の政府を崩壊させるという悪意ある意図をはるかに上回る干渉主義及び後見主義の悲惨な計画、即ち、歴史的に、シモン・ボリバルのモデルを破壊し、他の加盟国を恐れおののかせ、我が国に対する攻撃の新たな破壊的方法を推進し、邪悪な帝国主義的計画の主要な執行者が攻撃の為に振りかざす庇護行為を無理やり押し付けるというやり方を断固として非難しました。

貴殿、ルイス・アルマグロ氏は、OAS 史上類をみない最悪な行為を行いました。今後到来する未来は、OAS をうろついていた最も下劣で悲しい官僚として貴方を際立たせることになりましょう。しかも、その意味での自分の価値を見せようとさぞかし精を出したことでありましょう。

4月3日の緊急会合は、OAS の長期にわたる不法及び不正行為の歴史においても画期的な出来事でした。主権国家に対する行動をとるための虚偽で正当性に欠ける決定を採択させるという唯一の目的のために、貴殿の後援と加盟国少数グループの参加によって、事実上の常設理事会とともに OAS は制度として自身に背くことになりました。

また、キューバの OAS からの除名をもたらし、最高指導者フィデル・カストロ氏が OAS の名として付けた「植民地省」という有名な言葉が生まれた 1962 年の緊急外相会合開催と同じメカニズムを用いて、2017 年 4 月 26 日の常設理事会緊急会合において、私たちの共和国の意志を再び否定し、尊厳あるキューバ革命に対して OAS が反道徳的にも企てた迫害をベネズエラ・ボリバル共和国に対しても行おうとしました。

ベネズエラ・ボリバル共和国政府は、その対外政策の特質である協力・友好関係を強化するための平和外交を引き続き展開していく所存であり、国際法、国際連合憲章、並びに、最高司令官ウゴ・チャベスがパトリア・グランデ（大祖国）の情熱をもって創設した統合・団結・協力のメカニズムであり、且つ、シモン・ボリバルのジャマイカ書簡に示される多様性における真の統合と団結をもたらすメカニズムであるペトロカリブ (PETROCARIBE)、米州ボリバル同盟人民貿易協定 (ALBA-TCP)、南米諸国連合 (UNASUR) 及びラテンアメリカ・カリブ諸国共同体 (CELAC) の原則及び目的にベネズエラ政府が完全に合致していることを再確認致します。

ベネズエラはその憲法第一条の文言を完全に実行し、さらに深化させるために必要なことを既に習得しています。

ベネズエラ・ボリバル共和国は、確定的に自由且つ独立であり、その精神的遺産並びに自由、平等、正義及び国際平和の価値を、解放者シモン・ボリバルの理論に基づかせるものとする。

独立、自由、主権、外交特権、領土保全及び民族自決は、国民の放棄することの許されない権利である。

自決、独立、平和、領土保全及び主権を守るこの楯は、祖国の尊厳を守るために私たちが解放者から受け継いだ、変わる事のない道を示しています。

その意味で、本状は米州機構（OAS）憲章の廃棄という不可避の表明であり、ベネズエラ・ボリバル共和国に関してその国際的効力が停止されることを目的としています。従って、受託者として貴殿は加盟国に対し本決定を直ちに通知しなければなりません。

私は、OAS の任務遂行の合法性を維持するために、歴史上且つ実践上私たちの特質であるあらゆる手段を尽くすという行動をとったことを信じ、別れを告げます。OAS 憲章及び国際秩序の基本的な法律上の要素さえ尊重されることが不可能となり、私たちは、貴殿が我が祖国に対する無礼な侵略者であることを指摘しつつ、脱退致します。

自由で独立したベネズエラは、創設当初から、主権を有する人民に対する帝国主義の欲望を有効なものとして認めるための道具になった OAS に戻ることは決してありません。

この主権ある行動をもって、私たちはパトリア・グランデ（大祖国）の完全な独立に向けた第三次の勝利の事業を開始しました。

「アメリカ合衆国は、摂理によって、自由の名のもとにアメリカ大陸を災難まみれにする運命にあるようだ。」

シモン・ボリバル

**ボリバルとチャベスと共に我らは勝利する!**

ニコラス・マドゥーロ・モロス

大統領